

特選講師情報

リストNo 14966

2025/06

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

■ 講 師 陣 (敬称略)



講演料： B

● 日本経済の現状と展望

森永 康平

株式会社マネネCEO/経済アナリスト

証券会社や運用会社にてアナリスト、ストラテジストとして日本の中小型株式や新興国経済のリサーチ業務に従事。業務範囲は海外に広がり、インドネシア、台湾などアジア各国にて新規事業の立上げや法人設立を経験し事業責任者やCEOを歴任。2018年に金融教育ベンチャーの(株)マネネを設立。経済アナリストとして執筆や講演をしながら、AIベンチャーのCFOも兼任するなど、国内外複数のベンチャー企業経営にも参画。著書は『スタグフレーションの時代』(宝島社新書)や父・森永卓郎との共著『親子ゼミ問答』(角川新書)など多数。日本証券アナリスト協会検定会員。経済産業省「物価高における流通業のあり方検討会」委員。文化放送「おはよう寺ちゃん」レギュラーコメンテーター。

- (他のテーマ)
- ・ 日本経済の未来と生き残る企業の条件
 - ・ これからの時代に求められる金融リテラシーとは



講演料： C

● 経済安全保障の最前線

～激動する世界と日本の進む道～

北村 滋

北村エコノミックセキュリティ代表/元国家安全保障局長/元内閣

1956年東京都生まれ。東京大学法学部を経て、1980年警察庁に入庁。2006年内閣総理大臣秘書官(第1次安倍内閣)、その後、兵庫県警察本部長、警備局外事情報部長を歴任し、2011年内閣情報官に就任。特定秘密保護法の策定・施行に携わる。2019年国家安全保障局長・内閣特別顧問に就任。同局経済班を発足させ、経済安全保障政策を推進した。

著書に『情報と国家―憲政史上最長の政権を支えたインテリジェンスの原点』、『経済安全保障 異形の大国、中国を直視せよ』などがある他、米、豪、仏など各国から勲章を受章。

- (他のテーマ)
- ・ 経済安全保障 異形の大国中国を直視せよ
 - ・ 激動する世界と日本の進むべき道～トランプ2.0にいかに向かうか～



講演料： B

コミュニケーションをデザインする

● 社会貢献と企業価値向上の両立

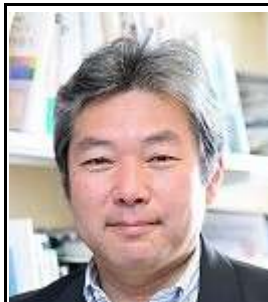
～アドボカシーマーケティングの活用～

片岡 英彦

戦略PRプロデューサー/企画家/コラムニスト

1970年、東京生まれ。湘南高校、京都大学卒業。日本テレビ放送網、アップルコンピュータ、MTVジャパン、日本マクドナルド、ミクシィを経て2011年、(株)片岡英彦事務所設立。戦略PRプロデューサー/企画家/コラムニスト/東北芸術工科大学企画構想学科学科長・教授/東京ウーマン編集長。ウェブ・ダ・カーポ AdverTimes(宣伝会議) WIRED を始め、カルチャー誌、マーケティング専門誌での連載の他、日本アドバタイザーズ協会、日本広報学会等でのマーケティング領域の講演を行う。また、慶應大学等において、マーケティング及び、企業の社会貢献活動(CSR)や、地域振興、アドボカシー活動、アドボカシー・マーケティング[7]、戦略PRに関する講義なども担当。

- (他のテーマ)
- ・ ミッション達成に向けたアドボカシーマーケティングの戦略的活用
 - ・ 市民参画と協働によるアドボカシーマーケティングの展開



講演料： B

● スマートワーク経営の新たな挑戦

～人材活用×人材投資×テクノロジー活用の3つの軸で人的資産を充実

鶴 光太郎

大妻女子大学 データサイエンス学部 教授

1984年東京大学理学部数学科卒業。オックスフォード大学 D.Phil.(経済学博士)。経済企画庁調査局内閣調査第一課課長補佐、OECD経済局エコノミスト、日本銀行金融研究所研究員、経済産業研究所上席研究員、慶應義塾大学大学院商学研究科教授を経て、2025年4月より現職。経済産業研究所プログラムディレクターを兼務。内閣府規制改革会議委員(雇用ワーキンググループ座長)(2013-16年)などを歴任。主な著書に『人材覚醒経済』(日本経済新聞出版)、『AIの経済学―「予測機能」をどう使いこなすか』(日本評論社)、最新刊『日本の会社のための人事の経済学』(日本経済新聞出版)などがある。

- (他のテーマ)
- ・ 働き方改革と生産性向上の両立を目指して
 - ・ 生成AI時代の人的資本経営



講演料: B-C

幸福学研究の第一人者

● 幸せの経営論・組織論

前野 隆司

武蔵野大学ウェルビーイング学部長、慶應義塾大学名誉教授

1984年東京工業大学工学部機械工学科卒業、86年東京工業大学理工学研究科機械工学専攻修士課程修了、同年キヤノン株式会社入社、93年博士(工学)学位取得(東京工業大学)、95年慶應義塾大学理工学部専任講師、同助教授、同教授を経て、08年よりSDM研究科教授。11年4月よりSDM研究科委員長。この間、90年-92年カリフォルニア大学バークレー校Visiting Industrial Fellow、01年ハーバード大学Visiting Professor。幸福学研究の第一人者として、幸せのメカニズム、幸せな経営について講演。また、システム×デザイン思考に基づくチームでのイノベーション教育や、受動意識仮説に基づく心の幻想性の話、ロボティクス、倫理学等についても講演している。

(他のテーマ) ■ 健康と幸福は企業成長に寄与するか? 企業成長戦略の思考法

- ・ チームの幸福度を高める働き方



講演料: C

● 食券とソロバンからA Iへ! 失敗と成功、そして未来

小田島 春樹

(有) ぬびや代表取締役社長 / (株) EBILAB代表取締役CEO

1985年北海道生まれ。10代の頃から自身で輸入業やECビジネスを手掛ける。大学卒業後、ソフトバンク(株)にて組織人事や新規事業・営業企画を担当。'12年(有)ぬびや入社。店長、専務を経て、現在代表取締役社長。'16年地域の課題解決を研究テーマに三重大学地域イノベーション学研究科の博士課程へ進学。'18年同大学院における研究テーマの社会実装を行なう為、サービス業向けデータ解析サービスプロダクトを手掛ける(株)EBILABを設立。'22年三重大学地域イノベーション学研究科の博士号取得。受賞に、Microsoft MVP 2回連続受賞('18年、'20年)、船井財団グレートカンパニーアワード2019「ユニークビジネスモデル賞」受賞('19年)、第3回日本サービス大賞「地方創生大臣賞」受賞('20年)など多数受賞。

(他のテーマ) ■ DX化 ぬびや食堂のデータ活用事例 ~売上8.5倍 利益80倍UPの実績

- ・ 老舗食堂ぬびやがDXした理由 テクノロジーと共に企業を変革する



講演料: C

現代社会の光と影に注目し常識のウツに鋭く切れ込む「ハゲタカ」の著者として知られる小説家

● 生き残る企業とは~中小企業の現状と未来

真山 仁

小説家

1962年大阪府生まれ。同志社大学卒、新聞記者、フリーライターを経て2004年『ハゲタカ』でデビュー。2007年『ハゲタカII』を原作とするNHK土曜ドラマが放映され話題になる。2018年、テレビ朝日で再度ドラマ化。『ハゲタカ』シリーズのほか、日本の食と農業に斬り込んだ『黙示』、被災地の小学校を舞台にした連作短編集『そして、星の輝く夜がくる』『海は見えるか』、カジノと地方再生をテーマにした『バラ色の未来』。東京地検特捜部の富永検事シリーズ『売国』『標的』、選挙の裏側にスポットを当てた『当確師』、日本の財政破綻問題に斬り込んだ『オペレーションZ』など著書多数。NHK「ルソンの壺」レギュラー出演(2017~'19年)

(他のテーマ) ■ グローバル感覚の常識、非常識

- ・ AI"社会とどう向き合うか~中小企業の未来を決める分岐点



講演料: D

マツハ末續 200M日本記録保持者

● 夢の先に見た世界

末續 慎吾

北京五輪銀メダリスト

熊本県熊本市出身。北京オリンピック男子4×100mリレー銀メダリスト東海大学で高野進の指導を受ける。高野が日本人の体格に合わせて構築した走法を完成させ、2003年パリ大会の200mで3位となった。日本人でこの種目のメダル獲得は初めて。2008年8月22日の北京オリンピック男子4x100mリレー決勝では第2走者として激走、オリンピックにおける日本男子トラック種目で史上最高位の3位に入り、日本代表としても陸上競技のリレー種目では歴代初めてとなる悲願の銅メダルを獲得。2018年より自身の走ることに對する世界観を表現した「EAGLERUN」を起ち上げ、選手を続けながら指導やメディア出演などの活動を行っている。

(他のテーマ) ■ 好きを貫いて生きる楽しさ

- ・



講演料: E

科学の視点から人間社会で起こりうる現象及び人物を読み解く語り口に定評がある

● 脳を科学する~世界に通用する人がいつもやっていること

中野 信子

脳科学者・東日本国際大学教授

1975年東京都生まれ。東京大学工学部卒業後、2004年東京大学大学院医学系研究科医科学専攻修士課程修了。'08年東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻博士課程修了。08~10年、仏原子力庁サクレ研究所で研究員として勤務。「情報プレゼンター とくダネ!」をはじめとし、TV番組コメンテーターとしても活動中。フジテレビ「平成教育委員会 2013!! ニッポンの頭脳決定戦SP」で優勝、「日本一優秀な頭脳の持ち主」の称号を得る。世界で上位2%のIQ所有者のみが入会できるMENSAの会員。著書に『世界で通用する人がいつもやっていること』『脳科学からみた「祈り」』など。

(他のテーマ) ■ ストレスをパワーに変える~脳科学がいつもやっていること

- ・ ビジネスに活かす脳科学